

～ 口座振替システム運用マニュアル ～ (Build28対応)

本資料では、新利用者請求システムに対応した『口座振替システム』について、導入から運用にいたる全体の流れをご説明いたします。

◇改定履歴

年月日	版数	改定内容
2008/3/14	初版	初回バージョン (β版)
2008/7/31	2版	口座振替処理の流れを明確に区分し、それぞれの区分にすべて取り消し機能を追加
		口座振替明細作成後に利用者の口座情報を訂正できるように対応
		利用者の口座振替契約情報から適用期間を削除し、「口座振替契約を停止する」という簡易な設定項目に変更
		請求データ取り込み処理の対象者一覧画面および対象者の抽出条件を変更 ・過去分の未振替の該当者を取り込み対象となるように対応 ・一部入金済みの請求書であっても口座振替処理ができるように対応 ※"実行 [選択]" に処理を集約し、"実行 [一括]" を削除
		出力形式が口振くんの場合、口座振替データの顧客番号を、20桁のうち頭10桁を委託者コードで上書きするように変更
		請求書／領収書作成において、口座振替対象者が振替不能などで未収の場合でも入金処理ができるように対応
		「請求書／領収書作成」画面で請求書や入金情報で口座振替処理の状態をアイコン表示するように対応
口座振替の処理単位を請求グループから口座振替グループに変更し、複数の請求グループをまとめて口座振替処理が出来るように対応		



・目次

1. 概要

<1>口座振替システム概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2. 画面構成

<1>口座振替メイン画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
<2>画面関係図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

3. 導入編

<1>利用者口座情報の登録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
<2>口座振替グループの登録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
<3>契約口座の登録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

4. 運用編

<1>請求データの取込・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
<2>媒体出力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
<3>振替結果入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
<4>確定処理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
<5>入金処理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

5. 補足

<1>振替データの個別編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
<2>利用者口座情報の変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
<3>「請求書／領収書作成」画面での口座振替処理状況の表示・・・・・・・・ 22
<4>口座振替契約者の現金または振込みによる入金方法・・・・・・・・・・・・ 23
<5>旧口座情報からのデータ移行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

1. 概要

1-1口座振替システム概要

口座振替システムでは、振替データの作成から領収書作成（入金処理）まで、当該システムで行なう事が可能です。出力形式は以下の3タイプに対応しております。

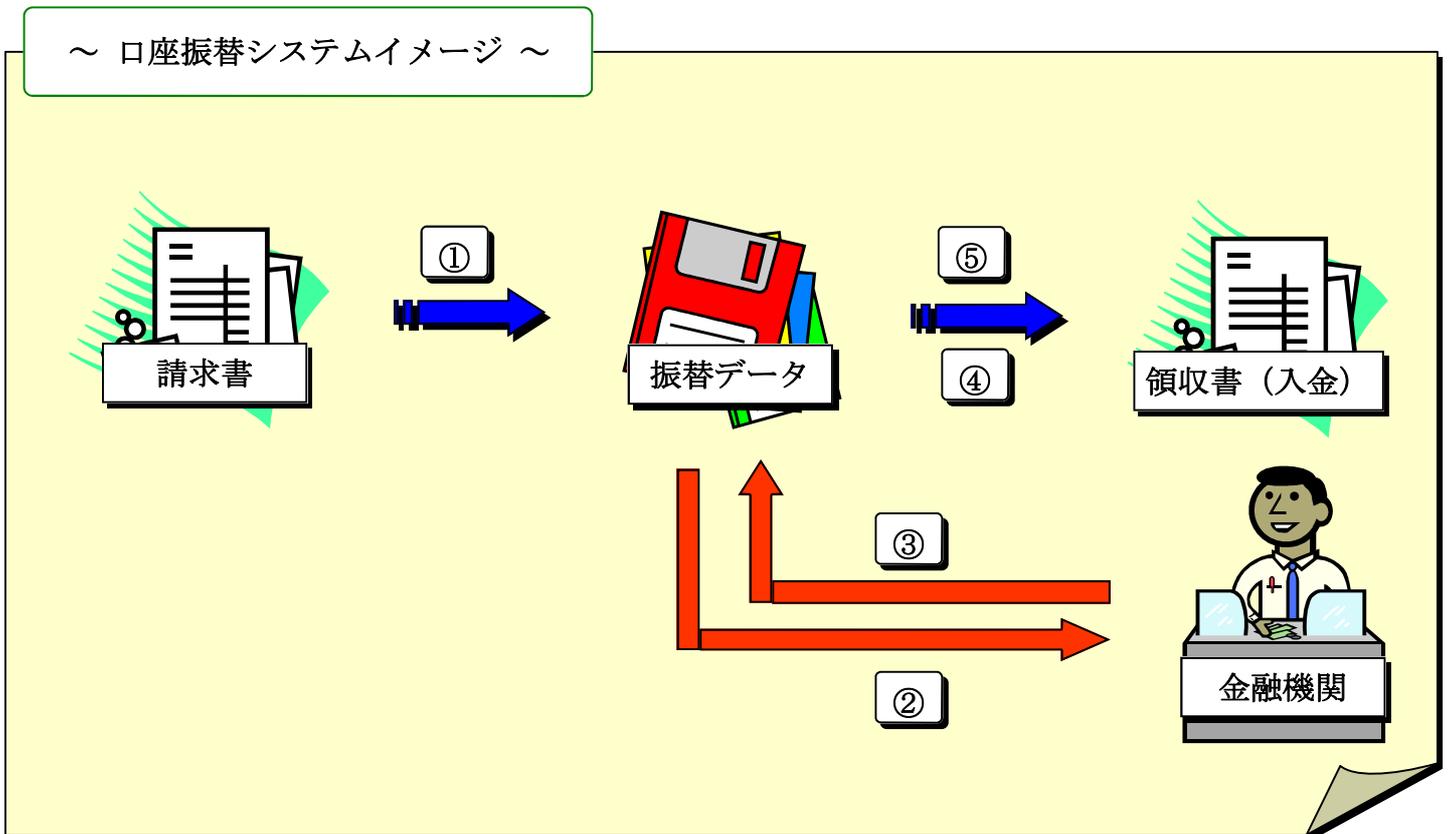
《 対応出力形式 》

①全銀協フォーマット

②郵便局標準フォーマット2

③全銀協フォーマット（口振くん）

～ 口座振替システムイメージ ～



🔗項目説明

NO	処理	内容
①	請求データの取込	請求データから振替データを作成します。
②	媒体出力	作成した振替データを媒体（FD等）に出力します。
③	振込結果入力	振替結果を入力します。
④	確定処理	振替結果が入力された振替データを確定状態にします。
⑤	入金処理	振替結果を元に入金処理を行ないます。

2. 画面構成

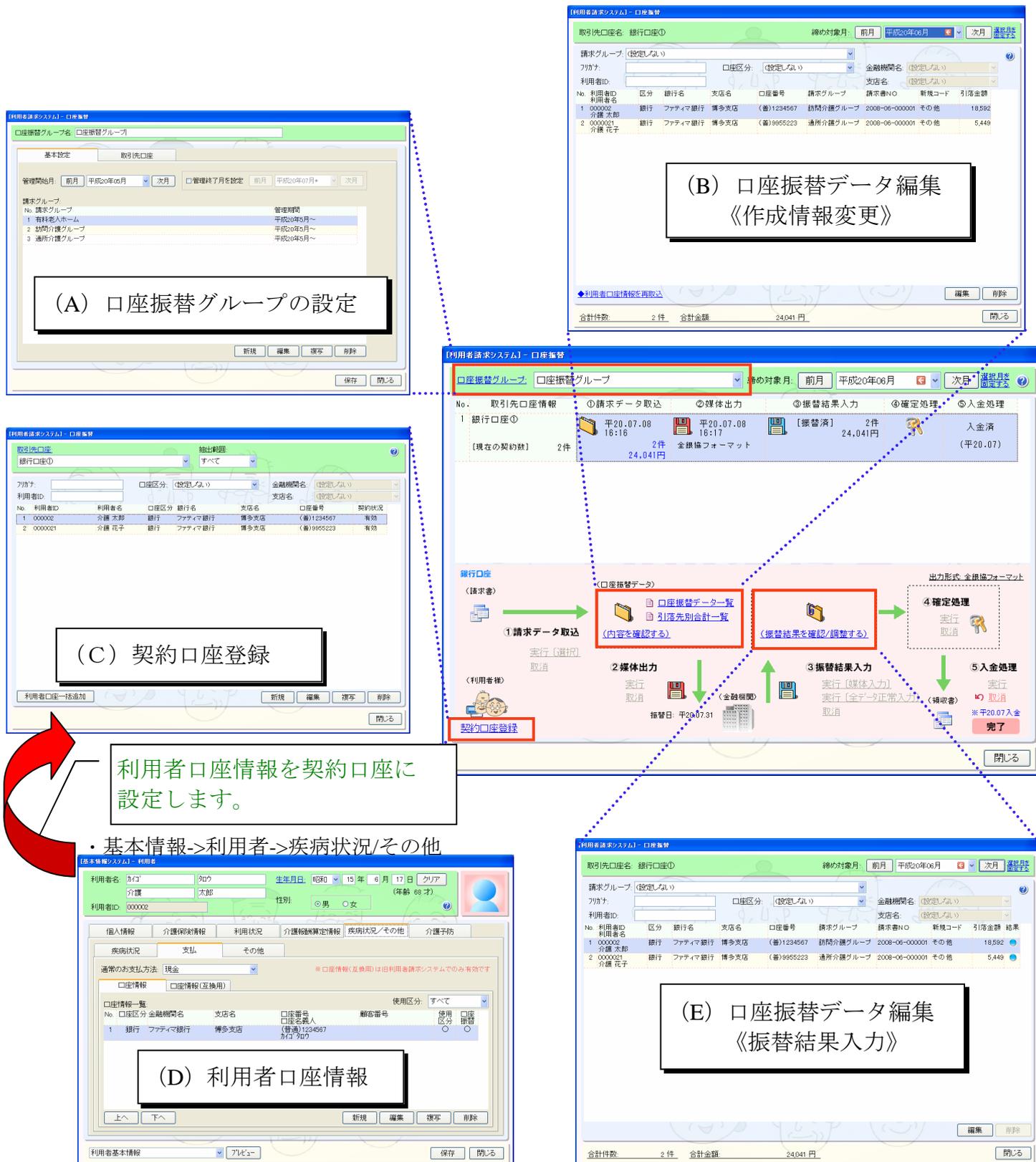
2-1 口座振替メイン画面

項目説明

NO	項目名	説明
1	口座振替グループ	口座振替を行う口座振替グループを選択します。
2	取引先口座	①口座振替グループで登録した取引先口座情報が表示されます。
3	現在の契約数	④契約口座登録で設定を行なった利用者の口座で、現在契約状況が有効な件数が表示されます。
4	契約口座登録	口座振替を行なう利用者を登録します。登録した利用者は③現在の契約数として表示されます。
5	リンク	当該画面の『請求書』『領収書』のアイコンをクリックすると、請求書/入金処理画面へ移動できます。
6	請求データ取込	契約対象者の請求データから振替データを作成します。
7	内容を確認する	作成された口座振替データの確認/編集が行えます。
8	媒体出力	作成された口座振替データを媒体（FD等）へ出力します。
9	振替結果入力	金融機関から送られてきた振替結果を取り込みます。
10	振替結果確認/調整	振替結果の確認/調整が行えます。
11	確定処理	振替結果入力後、確定処理を行ないます。
12	入金処理	振替結果情報を元に入金処理を行ないます。

2-2画面関係図

口座振替システム：メイン画面は、以下の各画面と関連付けられています。



3. 導入編

本章では、口座振替システム導入時に必要な設定内容を説明いたします。口座振替システム初回運用時には、下記導入手順に従ってマスタ登録を行って下さい。

・導入手順

NO	マスタ登録	作業内容
①	(D) 利用者口座※	郵便または銀行の利用者口座の情報を登録します。
②	(A) 口座振替グループ※	口座振替を行なう口座振替グループの情報を登録します。
③	(C) 契約口座※	(D) 利用者口座情報を元に口座振替を行なう対象者を登録します。

※マスタ登録のアルファベットは、2-2 画面関係図を参照しています。

3-1 利用者口座情報の登録

⇒[メニュー]：基本情報->利用者->利用者->疾病状況/その他->支払

◇利用者の郵便または銀行口座情報の登録を行ないます。複数の口座情報を登録する事も可能です。

■ 注意

口座振替システムにて以下の処理を行なうと、当該口座情報の削除ができなくなります。また、処理内容によって口座情報にロックがかかり入力できない状態になります。(ロックの解除は簡単に行えます)

- ◇ 契約口座の登録後・・・・・・・・・・・・・・・・・・口座情報の削除×/口座情報の変更○
- ◇ 口座振替データの作成後・・・・・・・・・・・・・・・・・・口座情報の削除×/口座情報の変更△

※ロックがかかっている口座情報の変更方法については資料5-2利用者口座情報の変更をご参照ください

・基本情報->利用者->疾病状況/その他->支払->口座情報

■ 口座情報(互換用)の登録

口座振替システムで使用される口座情報は、上記赤枠の、『口座情報』となります。『口座情報(互換用)』は旧利用者請求システム用になりますので登録する必要はありません。

利用者口座区分には、『銀行口座』『郵便口座』の二種類があります。該当する『口座区分』にチェックを行い口座情報を登録してください。

■口座情報登録のポイント

登録した口座情報を口座振替で使用する場合は、『口座振替で使用する』にチェックを行って下さい。
 ※チェックを行うと必須入力項目の背景がピンクで表示されます

(A) 銀行口座の場合

◇口座区分にて『銀行』を選択後、口座情報の各項目を入力してください。

チェック！

顧客番号は金融機関の指定に従って設定してください。指定がなければ未設定でも問題ありません。

[顧客番号の口座振替処理時の注意事項]

- ①顧客番号が20桁に満たない場合は前ゼロが設定されます
- ②出力形式が「口振くん」の場合は頭10桁が委託者コードで上書きされます

(B) 郵便口座の場合

◇口座区分にて『郵便局』を選択後、口座情報の各項目を入力してください。

チェック！

<入力例>
 通帳記号：12345 ⇒ 口座振替用：234
 (5桁↑) (真ん中3桁↑)

<入力例>
 通帳記号：12345678 ⇒ 口座振替用：1234567
 (8桁↑) (下1桁を除いた7桁)

3-2 口座振替グループの登録

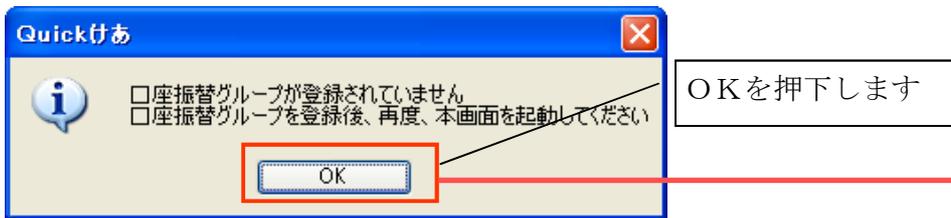
⇒[メニュー]：利用者請求->請求/入金->口座振替->口座振替グループ

◇口座振替グループは、口座振替の処理単位です。ひとつの口座振替グループに複数の請求グループをまとめることができます。

1) 口座振替グループ登録画面の起動について

口座振替グループが未登録の場合、下記のようなメッセージが表示されます。口座振替グループを1件でも登録すると通常の口座振替のメイン画面が起動します。

①口座振替グループが未登録の場合



②口座振替グループが1件でも登録されている場合

通常のメイン画面が起動します

口座振替グループの登録を行います。

No. 口座振替グループ 管理期間

口座振替グループのマスタ登録画面が起動するので、新規を押下し、「(2) 口座振替グループの登録について」に従って口座振替グループの設定を行ってください。

新規 編集 複写 削除

閉じる

2) 口座振替グループの登録について

口座振替グループの登録では、口座振替対象の請求グループと取引先口座の登録を行います。それぞれ複数登録することが出来ます。同じ口座振替グループで運用したい請求グループはすべて登録してください。

■ 注意

口座振替システムにて契約口座の登録及び口座振替データの媒体出力を行なうと、当該取引先口座の削除が出来なくなります。

① 口座振替対象の請求グループの登録

②取引先口座の登録

口座振替グループ名: 口座振替グループ

基本設定 **取引先口座**

使用区分: すべて

No.	取引先口座名	口座区分	銀行名 支店名	口座番号	委託者コード/事業主番号 委託者名/事業主名	出力形式	使用 区分
1	銀行口座①	銀行	ファティマ銀行	(普通)1111111	1221212121 イタジャメ	全銀協	○

上へ 下へ **新規** 編集 複写 削除

保存 閉じる

『新規』より取引先口座を登録します

取引先口座の設定

取引先口座名: 銀行口座①

口座情報 口座振替データ作成情報

※ 1

口座区分: 銀行 郵便局

金融機関名: ファティマ銀行

支店名: 博多支店

預金項目: 普通

口座番号: 1111111

委託者コード: 1221212121

委託者名: イタジャメ

金融機関の指定に応じて設定します

設定 閉じる

金融機関の指定に応じて設定します

取引先口座の設定

取引先口座名: 銀行口座①

口座情報 **口座振替データ作成情報**

出力形式: 全銀協フォーマット

ファイル名: phatima.txt

ファイル終端コード:
(EOF) 付加しない 付加する

使用区分: 無効 有効

口座振替データのファイル名を設定します※2。

設定 閉じる

口座振替データのファイル名を設定します※2。

※1 出力形式は下記3タイプを設定できます

- ①全銀協フォーマット
- ②全銀協フォーマット (口振くん)
- ③郵便局標準フォーマット 2

※2 ファイル名は金融機関によって異なります。金融機関の指定に合わせて設定して下さい。
当画面で設定したファイル名は初期設定値になります。ファイル名は振替データ媒体出力時に
変更する事ができます。

3-3 契約口座の登録

⇒[メニュー]: 利用者請求->請求/入金->口座振替->契約口座登録

◇契約口座の登録では、利用者基本情報で設定された口座情報を元に口座振替対象者を各取引先口座に登録します。登録方法には以下の二通りがあります。※初回導入時は、(A)利用者口座一括追加が便利です。

・取込方法

NO	マスタ登録	作業内容
A	利用者口座一括追加	指定した利用者を一括登録します。
B	個別追加	個別登録を行います。

・利用者請求->請求/入金->口座振替->契約口座登録

契約状況が有効な利用者が口座振替対象者となり、停止中の場合は口座振替対象者となりません

I 『変更』から利用者選択

I 追加対象者にチェック

II 追加

(A) 利用者口座一括追加

II 利用者口座の選択

III 保存

(B) 個別追加

■ 注意

一つの取引口座に登録できる同一利用者の有効な口座は一つだけです。すでに登録済みの利用者の口座を追加された場合は、自動的に既に登録されている口座が停止中の状態(※)になります。

※「口座振替契約を停止する」にチェックが入った状態になります

4. 運用編

本章では口座振替システム運用を下記の運用手順の流れに従って説明いたします。

・運用手順

NO	処理	内容
1	請求データの取込	請求データから振替データを作成します。
2	媒体出力	作成した振替データを媒体（FD等）に出力します。
3	振込結果入力	振替結果を入力します。
4	確定処理	振替結果入力後の振替データを確定状態にします。
5	入金処理	振替結果を元に入金処理を行ないます。

4-1 請求データの取込

◇取込作業では、作成済みの請求データから口座振替データを作成します。
未収の請求書（一部入金も含む）が対象となります。

・利用者請求->請求/入金->口座振替

The screenshot shows the '口座振替' (Direct Debit) system interface. The window title is '[利用者請求システム] - 口座振替'. The interface includes a header with '口座振替グループ' (Direct Debit Group) and '締め対象月' (Closing Target Month) set to '前月 平成20年08月'. Below the header is a table with columns for 'No.', '取引先口座情報', and steps 1 through 5. Step 1 is highlighted. A callout box points to the '実行 (選択)' button in step 1, with the text '実行を押下します'. The interface also shows a flow diagram for the process, including '銀行口座' (Bank Account) and '出力形式 全銀協フォーマット' (Output Format: All Bank Association Format).

■ 口座振替データ作成(取込)後の制限

口座振替にて請求書の取り込みが行われると、以下の作業に制限がかかります。

<制限される作業>

- I. 口座振替で取り込んだ請求書に該当する利用料金集計データの更新/削除
- II. 口座振替で取り込んだ請求書の更新/削除

請求データ取込 [選択]

[利用者請求システム] - 口座振替

取引先口座名: 銀行口座① 締め対象月: 平成20年6月

請求グループ: (設定しない)

フリガナ: 口座区分: (設定しない) 金融機関名: (設定しない)

利用者ID: 支店名: (設定しない)

未振替<当月分> (2/2) 未振替<過去分> (0/0) 振替不能分 (0/0)

No.	利用者ID 利用者名	請求グループ	請求書NO	請求額	金融機関名	口座番号	引落額	
1	000002 介護 太郎	訪問介護グループ	2008-06-000001	18,592円	ファティマ銀行/博多支店	(普)1234567	18,592円	<input type="checkbox"/>
2	0000021 介護 花子	通所介護グループ	2008-06-000001	5,449円	ファティマ銀行/博多支店	(普)9955223	5,449円	<input type="checkbox"/>

I 取込対象のタブを選択 (A)

II 対象者にチェック

III 新規コードを設定 (B)

IV 実行を押下します

新規コード: その他

(A) 取込対象の各タブについて

各タブに表示される請求書は、口座振替契約が有効で、かつ、未収の請求書であることが前提となります。

NO	項目	内容
1	未振替<当月分>	口座振替の締め対象月と同じ締め対象月に作成された請求書
2	未振替<過去分>	口座振替の締め対象月より過去の締め対象月に作成された請求書
3	振替不能分	口座振替の締め対象月より過去の口座振替処理で振替不能であった請求書

(B) 新規コードについて

NO	項目名	説明
1	その他	過去から継続して引落を行なっている場合に設定します。
2	第1回引落分	第1回目（初回）の口座振替時に設定します。
3	変更分	利用者の契約口座番号等の変更があった場合に設定しますが、通常は個別に指定するため、当該画面では指定せず、個別編集で設定を行ってください※。

[取込時の注意]

選択した『新規コード』は対象利用者すべてに同じ値が設定されるため、新規コードが取込時の設定と異なる利用者がある場合は、振替データを作成した後、個別に編集する必要があります※。

※振替データの個別編集方法については、資料5-1振替データの個別編集をご参照ください

4-2 媒体出力

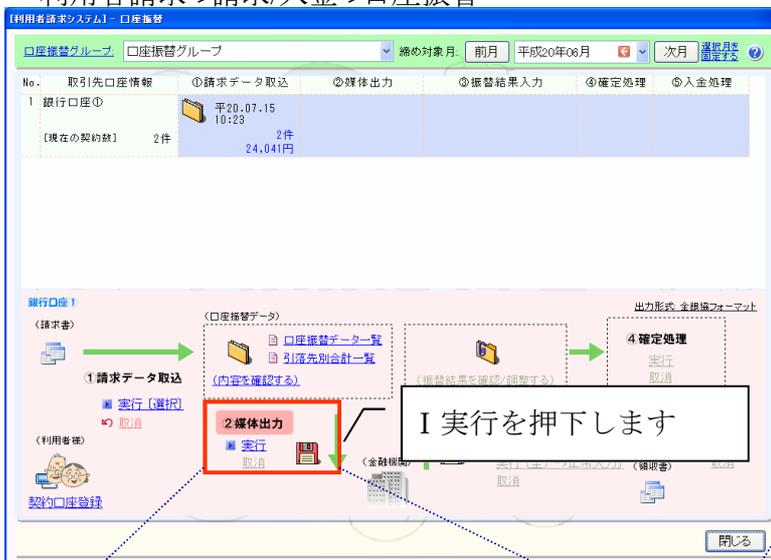
◇「請求データ取込」より作成した『口座振替データ』を、媒体（FD等）へ出力します。

■媒体出力後の注意

口座振替データの媒体出力後は、媒体入力時のデータと整合性を保つ為に口座振替データの削除/編集(摘要以外)が出来なくなります。

振替データ提出後に媒体出力〔取消〕処理を行い、口座振替データの内容(摘要以外)を変更すると、「4-3 振替結果の入力①媒体入力」時に振替結果の不整合が起きる可能性がありますのでご注意ください。

・利用者請求->請求/入金->口座振替



III ファイル名を指定します

IV 振替日を指定します

V 『実行』を押下すると媒体に振替データが出力されます



<ファイル名の拡張子>

金融機関によって拡張子の指定がある場合は、ファイル名の設定で以下のように設定する必要があります。

- ・テキスト形式での提出 ⇒ (ファイルの名前).txt
- ・拡張子が不要の場合 ⇒ (ファイルの名前)

4-3 振替結果入力

◇提出した振替データが金融機関より返却された後、当該振替データに振替結果／振替日を入力します。
本項目で行う作業内容は以下の通りです。

・作業内容

NO	作業内容	作業内容
①	実行〔媒体入力〕	媒体（返却されたデータ）から振替結果を取り込みます。
②	実行〔全データ正常入力〕	データ取込を必要とせず、振替結果を全て正常入力（全件振替済）します。 振替結果がデータではなく、紙ベースで返却される場合はこちらをご利用下さい。 ※全データ正常入力後、振替結果の変更が必要な場合は「振替結果を確認/調整する」から個別編集を行って下さい。

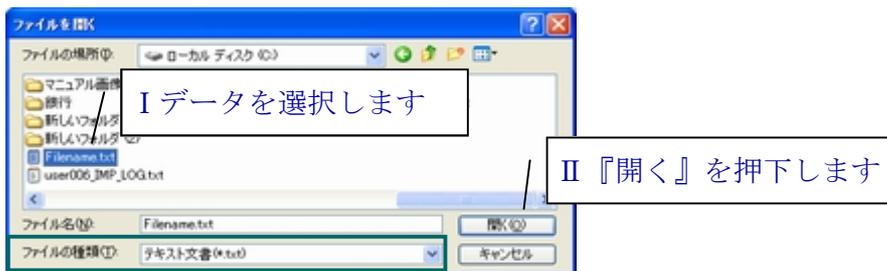
※振替結果正常入力後の振替結果／振替日の個別編集作業は、資料5-1 振替データの個別編集をご参照ください。

・利用者請求->請求/入金->口座振替

振替結果を取込むと、媒体出力時に指定した振替日が個別に設定されます。振替日は⑤入金処理時の入金日となります。

① 媒体入力の場合・・・

『媒体入力』を押下後下記画面が開きます。返却されたデータの参照先を下記画面より指定します。



■ファイルの種類

上記サンプルではファイルの種類が『テキスト文書』が選択されていますが、通常は『すべてのファイル』が初期選択されており、拡張子がないファイルも表示されます。

② 全データ正常入力の場合・・・

各口座振替データの振替結果に「振替済」が設定されます。振替結果が正常でないデータは振替結果の変更を個別編集より行ってください。

※個別編集作業は、資料5-1 振替データの個別編集をご参照ください。

■再振替の場合(出力形式が郵便局標準フォーマット2でかつ再振替の契約をしている場合)

① 媒体入力の場合

再振替で返却されたデータを上記①の方法で再度取込むと、再振替分の振替結果と振替日(媒体出力時に指定した再振替日)が個別に設定されます。

② 全データ正常入力

再振替分のデータの振替日に再振替日を設定します。

※個別編集作業は、資料5-1 振替データの個別編集をご参照ください。

4-4 確定処理

◇振替結果入力処理が全て完了したら、振替データを『確定』状態にします。

■確定処理後の状態

振替データの『確定処理』を行なうと、口座振替システムで以下の処理が可能になります。

【確定後に可能な処理】 ①入金処理 ② 振替不能分の翌月への再振替（繰越）

・利用者請求->請求/入金->口座振替

振替結果入力処理が完了したら
確定処理にて『実行』を押下します

確定処理が行なわれていない
為、入金処理が行なえません

確定実行 前

振替結果が『確定』の
状態になります。

確定が行われると『入金処理』
が行えるようになります

確定実行 後

4-5 入金処理

◇④確定処理後、入金処理を実行し、一括で入金情報を作成します。口座振替システムで処理をされた請求書で振替結果が「振替済み」の請求書の『入金処理』は通常口座振替システムより行ないます。

■注意事項

- ①入金処理／入金取消は、同締め対象月において請求/入金->請求書/領収書作成が[確定]状態の場合、実行(入金)することができません。実行するには[確定]を解除[未確定]する必要があります。
- ②[メニュー]: 利用者請求->請求/入金->請求書/領収書作成画面からの入金処理は行わないでください
 ※振替不能で次月以降に再振替を行わない請求書については、資料5-4「口座振替契約者の現金または振込みによる入金方法」をご参照ください

・利用者請求->請求/入金->口座振替

I 実行を押下します

II 『実行』を押下すると、設定した締め対象月に入金が行われます
 ※各口座振替データに設定された振替日が入金日に設定されます

<入金処理の取消>
 口座振替システムで作成された入金情報(※)を削除するには、上記画面『取消』により一括で行う必要があります。

※[メニュー]: 利用者請求->請求/入金->請求書/領収書作成の画面からは当入金情報を削除することはできません。

5. 補足

5-1 振替データの個別編集

◇作成した口座振替データは、口座振替処理の作業段階に応じた個別編集を行う事が可能です。

・編集内容

NO	画面表示メニュー	編集可能な作業段階	作業内容
A	内容を確認する	①請求データ取込後	口座振替データの作成内容を編集します。
B	振替結果を確認/調整する	③振替結果入力後	口座振替結果の入力/編集を行います。

■ A 内容を確認する ～ ①請求データ取込後の操作～

・編集内容

NO	編集可能な項目	編集内容
1	利用者口座情報を再取込	請求データ取込後、利用者口座情報を変更した場合は、取込んだ口座振替データと不一致が起るため必要に応じて再取込を行ってください。（※）
2	編集	「新規コード」の変更が行えます。
3	削除	口座振替データの削除が行えます。

※利用者口座情報の変更方法については、資料5-2利用者口座情報の変更をご参照ください

The screenshot illustrates the workflow for account transfer data management. It shows a main menu with steps: ①請求データ取込 (Request Data Import), ②媒体出力 (Media Output), ③振替結果入力 (Transfer Result Input), ④確定処理 (Final Processing), and ⑤入金処理 (Deposit Processing). A detailed view of step ① shows a table of request data for '銀行口座①' (Bank Account 1) with details like '平成20.07.15 10:23', '2件', and '24,041円'. A callout box '2. 編集 (新規コード)' (Edit (New Code)) points to a dropdown menu for '新規コード' (New Code) with 'その他' (Others) selected. Another callout '1. 利用者口座情報の再取込' (Re-import User Account Information) points to the '再取込' (Re-import) button. A third callout '3. 削除' (Delete) points to the '削除' (Delete) button. The bottom of the screen shows a summary: '合計件数: 2件, 合計金額: 24,041円'.

■ B 振替結果を確認/調整する ～③振替結果入力後の操作～

・編集内容

NO	編集可能な項目	編集内容
1	振替結果コード	振替結果の設定を行います。
2	振替日	振替日の設定を行います。

No.	利用者ID	区分	銀行名	支店名	口座番号	請求グループ	請求書NO	新規コード	引落金額	結果
1	000002	銀行	ファミマ銀行	博多支店	(普)1234567	訪問介護グループ	2008-06-000001	その他	18,592	●
2	000021	銀行	ファミマ銀行	博多支店	(普)9955223	通所介護グループ	2008-06-000001	その他	5,449	●

5-2 利用者口座情報の変更

◇①請求データ取込後、利用者口座情報の変更があった場合は口座振替システム側と不一致が起こるので必要に応じて再取込を行う必要があります。手順は以下の通りです。

⇒操作の流れ

- ・基本情報->利用者->疾病状況/その他->支払->口座情報

口座振替明細データとして作成された場合は、口座情報が安易に変更できないようにロックがかかっています。口座振替処理後に口座情報を修正する場合はロックを解除してから行ってください。

I 「ロックを解除する」を押下し、口座情報を変更します

- ・利用者請求->請求/入金->口座振替-> (内容を確認する)

No.	利用者ID 利用者名	区分	銀行名	支店名	口座番号	請求グループ	請求書NO	新規コード	引落金額
1	000002 介護 太郎	銀行	ファミマ銀行	博多支店	(普)1234567	訪問介護グループ	2008-06-000001	その他	18,592
2	0000021 介護 花子	銀行	ファミマ銀行	博多支店	(普)9955223	通所介護グループ	2008-06-000001	その他	5,449

II 対象者を選択します

III 利用者口座情報を再取込を押下します

5-3 「請求書／領収書作成」画面での口座振替処理状況の表示

◇口座振替処理の進捗／結果に応じて「請求書／領収書作成」の各画面にアイコンが表示されます。

・利用者請求-> 請求／入金 -> 請求書／領収書作成

請求書

請求グループ: 訪問介護グループ 締め対象月: 前月 平成20年06月 次月

サービス種類: (設定しぬい) フリガナ: 利用者ID: 表示順: フリガナ 発行区分: (設定しぬい) 未確定

請求書	入金情報(領収書)	請求残高
No. 利用者ID 1 000002	利用者名 介護 太郎	性別 男
請求書NO 2008-06-000001	請求額 (ご利用額) 18,592	医療費 控除額 0
請求額 18,592	入金額 0	請求 区分 請求書
		請求 発行 印刷 振替

入金情報 [追加]

請求グループ: 訪問介護グループ 締め対象月: 平成20年7月

入金方法: 「通常の支払方法を適用」 表示範囲: 当月分を表示する 表示切替: 口座振替契約がある利用者

締め対象年月: 平成20年6月 請求書件数: 1 未収件数: 1 請求額: 18,592 入金額: 0 未収額: 18,592 入金率: 0%

入金日: 「通常の支払期日」を適用 2008/07/15

フリガナ: 利用者ID: 支払い方法: (設定しぬい) 表示順: フリガナ

No. 利用者ID	利用者名	性別	請求書NO	請求額	既入金額	未収額	口座 振替 結果	入金率
1 000002	介護 太郎	男	2008-06-000001	18,592	0	18,592	口座 振替 結果	0%

口座振替の処理状況または結果

当該請求書の現在の口座振替処理の状況
をアイコンで表示します。
※アイコン無しの場合は口座振替処理が
されていない請求書を表示します。

-  口座振替処理中
(口座振替未確定)
-  振替結果(正常)
(口座振替確定済み)
-  振替結果(振替不能)
(口座振替確定済み)

入金情報

請求グループ: 通所介護グループ 締め対象月: 前月 平成20年07月* 次月

サービス種類: (設定しぬい) フリガナ: 利用者ID: 表示順: フリガナ 発行区分: (設定しぬい) 未確定

請求書	入金情報(領収書)	請求残高
No. 利用者ID 1 0000021	利用者名 介護 花子	性別 女
請求書NO 2008-06-000001	請求額 5,449	入金日 平成20.07.31
請求額 5,449	入金日 平成20.07.31	今月 入金額 5,449
		入金率 100%
		発行 対象 発行 印刷

入金方法

口座振替システムによる入金を行った場合は
以下のアイコンが表示されます。



※この状態では入金情報の削除や入金額
の修正はできません。

通常入金処理画面より入金した場合は、
“現金”、“口振”(口座振替)、“振込み”と文
字による表示となります。

5-4 口座振替契約者の現金または振込みによる入金方法

◇口座振替契約がある利用者であっても未収の請求書であれば、「請求書／領収書作成」画面より入金処理を行うことができます。

・利用者請求-> 請求／入金 -> 請求書／領収書作成

入金情報〔追加〕

請求グループ: 訪問介護グループ 締め対象月: 平成20年7月

入金方法: 「通常の支払方法」を適用 (設定しない)

表示範囲: 当月分を表示する

表示切替: 口座振替契約がある利用者

No.	利用者ID	利用者名	性別	請求書NO	通常の支払方法	請求額	既入金額	未収額	口座振替結果	入金率
1	000002	介護 木郎	♂	2008-06-000001	現金	18,592	0	18,592	<input checked="" type="checkbox"/>	0%

ボタン: 請求書を表示 | **入金** | 閉じる

I 「口座振替契約がある利用者」を選択します

II 対象者をチェックします

III 入金を押下します

口座振替契約がない利用者

口座振替契約がある利用者

「口座振替契約がある利用者」で抽出した場合、請求書の口座振替結果をアイコン表示で確認することができます。

-  最後の口座振替結果が正常で、未収金がある請求書
※通常は選択しません。
-  最後の口座振替結果が振替不能の請求書

《アイコン表示なし》
口座振替処理されていない請求書

「口座振替契約がある利用者」で抽出される条件は以下の通りです。

1. 口座振替契約が有効な状態で登録された利用者
2. 未収金がある請求書（一部入金も含む）
3. 口座振替処理が確定された状態の請求書※

5-5 旧口座情報からのデータ移行

◇旧利用者請求システムにて『銀行引落システム』をご使用されていた場合、利用者個人情報で登録済の口座情報（互換用）が『口座振替システム』で使用する『口座情報』画面へ自動的にデータの移行が行われます。

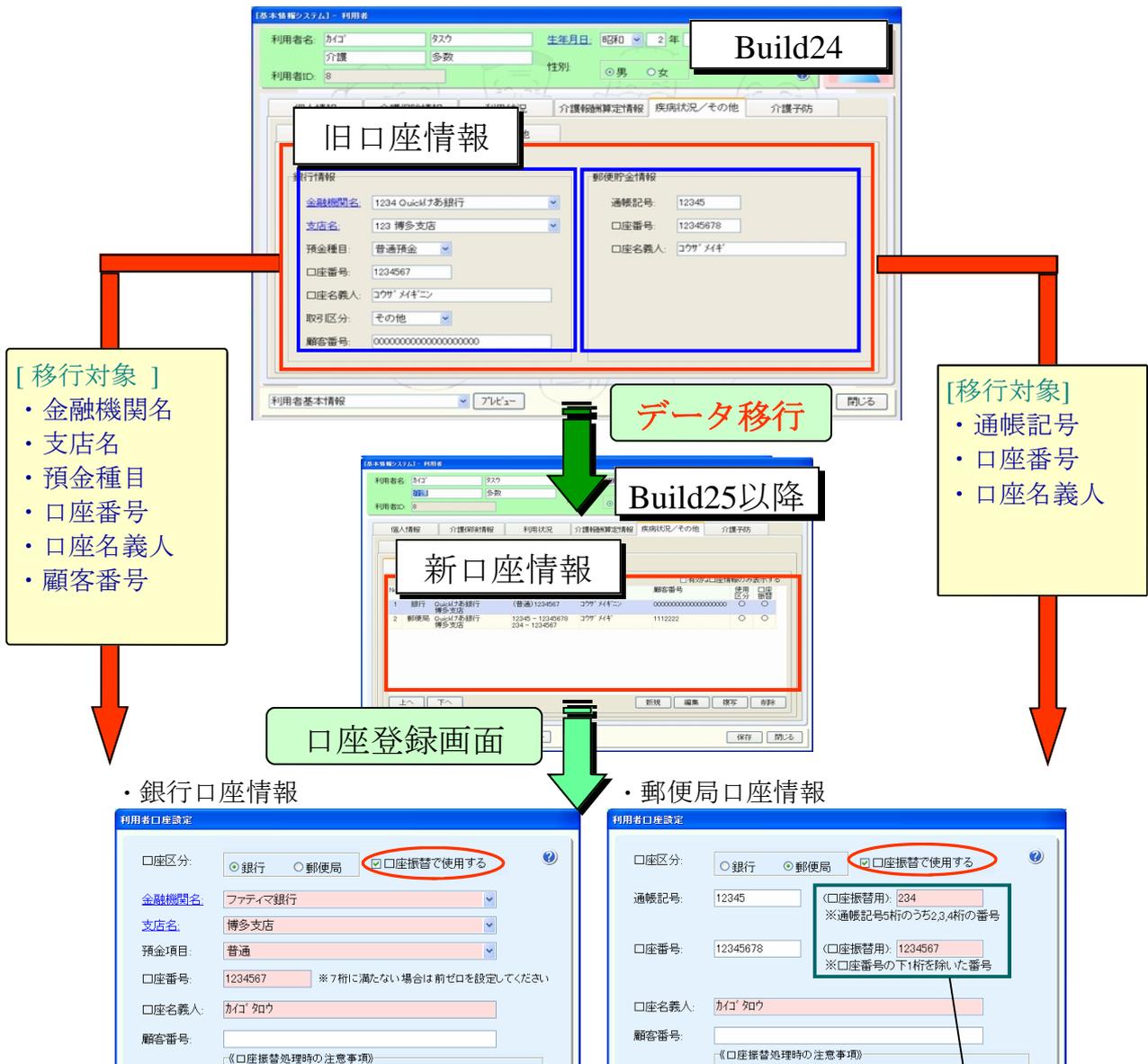
■データ移行時の注意

口座振替に必要な項目に未設定項目がある場合、口座振替の対象口座として設定されません。

※データ移行はされますので、移行後、未設定項目を設定し「口座振替で使用する」にチェックを入れて下さい。

※顧客番号が未設定の場合は、20桁全て0の値が設定されます。

・基本情報->利用者->疾病状況/その他



[口座振替で使用する]

必須入力部分（背景ピンク）が正常値に設定されているもののみ自動でチェックが入り、口座振替システムでの運用が可能になります。

[注意] 郵便口座情報の場合
以下の桁数のものが移行されます

- ・通帳記号：5桁または3桁
- ・口座番号：7桁または8桁